

藝文友の会会員ふれあい催事

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

スペシャルゲスト：北村英治 & 阿川泰子

Toshio Mori Blue Coats Orchestra



期日 ● 平成27年 5月20日(水) 開場18:00 開演18:30

会場 ● 結城市民文化センター アクロス

主催 ● 公益^{財団}法人常陽藝文センター

協賛 ●  常陽銀行 **80th**

おかげさまで80周年。ともに未来を創ります。

Program

Moon Light Serenade	ムーンライト・セレナーデ
In The Mood	イン・ザ・ムード
Memories of You	メモリーズ オブ ユー
Let's Dance	レッツダンス
Stardust	スターダスト
Sing Sing Sing	シング・シング・シング
Take The A Train	A列車で行こう
When You Wish Upon A Star ~ Over The Rainbow	星に願いを~虹の彼方に
Its' Done Mean A Thing	スイングしなけりゃ意味が無い
Caravan	キャラバン
	ほか

☆曲名・曲順が変更になる場合もございますので、ご了承ください。 ☆公演時間は休憩を含む概ね120分間の予定です。

Profile

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

Toshio Mori & Blue Coats Orchestra

現在活躍中のビッグバンドの中で、最も永い歴史を刻んでいるブルーコーツの原点は、1935年当時の大学生によって作られたバンドが母体となっている。

その後第二次大戦で一時中断するが、1946年にジャズ好きの六大学OBによって再結成され後に「ブルーコーツオーケストラ」として発展し、現在まで脈々と永い歴史と伝統を刻んでいる。

その伝統には上品でアカデミックなサウンドが受け継がれていて、黛敏郎・笈田敏夫・秋吉敏子等、数多くの有名な音楽家を輩出している。

1970年 藝大出身の森寿男が3代目リーダーを引き継ぎ、その伝統を継承すると共にカウント・ベーシー、デューク・エリントンの精神とフィーリングを追求し、音楽を通じて人の心に語りかける温かいサウンド作りを目標にして活動を続けている。

現在のブルーコーツは、全国各地のジャズコンサートを始め、学校公演やファミリーコンサート等で活動、ビッグバンドジャズの王道を往く

演奏を展開している。

1995年6月、グレン・ミラーの生誕地(アメリカ・アイオワ州クラリダ)で開催された【グレン・ミラー フェスティバル】に招聘され渡米、現地の熱烈な歓迎を受け絶賛を博した。

2004年1月リーダーの森寿男が、ジャズ界の大賞と言われる南里文雄賞を受賞。

それを記念してブルーコーツの長い歴史をまとめた【ジャズに情熱をかけた男たち / ブルーコーツ70年】(瀬川昌久著)の本が出版された。

1946年から数えて65年を迎えたブルーコーツは2010年11月23日【ブルーコーツ結成65年・森寿男&ブルーコーツ40周年記念リサイタル】を日比谷公会堂で開催。65周年記念アルバム「65th ANNIVERSARY スイングしなけりゃ意味がない」のCDも発売され注目を集めた。

今年結成70周年、森寿男 & ブルーコーツ45周年を迎え、メンバー一同新たな歴史に向かって、益々幅広い演奏活動を続けている。

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

Conductor : 森 寿男

Trumpet : 羽毛田 耕士 寺島 基文 篠原 国利 上石 統

Trombone : 岩崎 敏信 内田 日富 小林 稔 渡辺 亮

Alto Sax : 今野 菊治 清水 洋之助

Tenor Sax : 田辺 信男 内山 正博

Baritone Sax : 五十井 梧楼

Piano : 内間 修

Bass : 小高 正志

Drums : 阿野 次男



北村 英治

Eiji Kitamura
(Clarinet)

1929年東京都生まれ。

慶応大学在学中にクラリネットを学び、1951年南部三郎クインテットでプロデビュー。

1954年に自己のバンドを結成し、以来国内外でのコンサート、ディナーショー、ラジオ・テレビ出演等、幅広い演奏活動を行っている。

デキシーからモダンシングまでをこなし、クラシック曲にも挑戦するなど前進を続けている。演奏会では木管の暖かく深みのある音色と独特のフレーズで聴衆の心を豊かに満たし、曲間のお喋りでも大いに楽しませてくれる。1977年モンテレージャズ祭(米国)に招かれ大好評を博し、以来アメリカはもとより、ヨーロッパ、オーストラリア等の大ジャズ祭に数多く出演し、世界的ジャズクラリネット奏者として活躍している。

2007年4月 旭日小綬章受章



阿川 泰子

Yasuko Agawa
(Vocal)

神奈川県鎌倉市出身。

文学座演劇研究所にて演劇を学び、東宝映画「華麗なる一族」「青春の門」、TVドラマ「太陽にほえろ！」などに出演。その女優時代に、ジャズ・クラリネットの故鈴木章治氏を紹介され、ジャズ・ボーカリストの道を歩み始める。

1978年にアルバム『Yasuko "LOVE BIRD"』でデビュー。

1981年発表の5作目のアルバム『SUNGLOW』は、日本のジャズ・シンガーとしては異例の60万枚の大ヒットを記録。当時マスコミから“ネクタイ族のアイドル”、“シュガー・ボイス”などと取り上げられ、アイドル的な人気を博す。

以後、セルジオ・メンデス、ジョー・サンプル、ニック・デカロ、ロン・カーターなど海外の一流ミュージシャンとのコラボレーションなど、精力的に活動し、ジャズ・ボーカリストとしてのキャリアを重ねる。

また、1987年からは日本テレビ系のトーク番組「オシャレ30・30」に古舘伊知郎氏とレギュラー出演。ゲスト陣とのトークに加え毎週1曲を披露。その数は延べ360曲にも及ぶ。

2014年11月、80年代を特集したライブアルバム『CROSSOVER NIGHT~UNCHAINED MELODY~』をリリース。

女優の経験を生かした表現力豊かな歌唱と上品な演出で、多くのファンを魅了し続けている。